

テーマ「文章の要約／文章のまとめ方」

■長い文章を短くすることが「要約」「まとめ」か？

「文章を要約しなさい。」「内容をまとめなさい。」という指示が出されると、無条件で「どこを抜き出してつなげるか」と考え、文章からそれらしい「箇所」を選んで、「コピペ」を試みようとする児童・生徒が多いようです。

ところが、それらしい「箇所」も見つけられなければ、どう「コピペ」すればよいかもわからず、文章の「要約」、「まとめ」ができないと苦手意識を持つようになってしまいます。今回はその苦手意識を克服する一つの手段を提案していきます。

■文章の読み直し

自分の考えを筆者はどの言葉で語っているか

自分の言葉で内容を要約し、まとめたところで文章にもどります。自分がまとめた内容と同等のことが書かれている「箇所」がわかりますか。やみくもに、どこを抜き書きすればよいかわからないまま書き出す「箇所」を探すより、きちんと見当をつけて、内容をまとめるために利用する言葉を探すようになるので、同じ「探す」という行為でもその意味は大きく異なります。

■要約・まとめで大事なこと

筆者が伝えようとしていることが分かりましたか？

当然のことですが、伝えられた内容が分からなければそもそも要約しよう、まとめようがありません。内容がわかっていないのに一生懸命に「コピペ」の「箇所」を探しているのがほとんどではないでしょうか。

要約やまとめで大切なことは、まず文章の核となる中心テーマをとらえることです。少なくとも、何についての話をとらえ、そこからそれについて何を伝えようとしているかを考えることが必要です。

■内容の「核」を彫り出すとは

内容の取捨選択をバツサリ行う

文章の中で多くの言葉を眺めていると、これもかな、あれもかなと迷ってしまうのではないのでしょうか。しかし、内容の「核」は1つです。その1つに必要なことだけを丁寧に書き表していくので、必要ない内容はバツサリ切ってしまいましょう。「この言葉…、あの言葉…」と下手に組み立てて文にするのではなく、「この内容だけで、あとはいらない」と割り切ってまとめてみましょう。

■コピペの前に

まずは自分の言葉で考える

人の話を聞いた後、その話を聞いたままに覚えようとする人はいるのでしょうか。おそらくそのままその話の内容を記憶しようとはしないでしょう。メカニズムはわからないのですが、「要するに、・・・でしょう。」と自動的に「要約」「まとめ」をしているのではないのでしょうか。この時、発信者の言葉を多用するのではなく、自分の言葉を使いながらその内容をまとめ、理解します。これが第一歩です。

■まとめ

文章の要約、まとめの流れ

1. 文章をしっかり読み、そのテーマをつかむ。「この文章は……についての話」という枠組みで文章の内容をつかむ。
2. 「…について、要するに〇〇ということが書かれている」いうようざっくりとしたまとめを自分の言葉で表す。
3. 自分の言葉で表された内容は文章ではどのように表現されているかを探す。その言葉を要約・まとめに利用する。
4. 内容の「核」となることのみを書き表して、要約・まとめを整える。